

A photograph of two men in a meeting room. The man on the left is wearing a red and blue plaid shirt and glasses. The man on the right is wearing a light blue striped shirt and dark trousers, holding a laptop. They are standing in front of a wall with a patterned curtain. The image is partially obscured by a large white triangle with a geometric pattern.

GRI インデックス

- ▷ 一般標準開示項目
- ▷ 特定標準開示項目

GRI G4 内容索引 - コア

TI は、グローバル・レポート・イニシアティブ (GRI) の G4 サステナビリティ・レポート・ガイドラインのコアレベルに従っています。次の表に、GRI ガイダンスに基づく一般標準開示項目と特定標準開示項目の索引を示します。指標は、TI のそのステークホルダーに関連があり重要な情報を共有するために、簡潔で標準化された手段を提供します。

インディ	一般標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	戦略と分析	
G4-1	組織の最高意思決定者の声明	最高経営責任者の声明
	組織のプロフィール	
G4-3	組織の名称	Texas Instruments Incorporated (NASDAQ:TXN)
G4-4	主要なブランド、製品およびサービス	SEC フォーム 10-K , Part I, pages 2-4 (英語)
G4-5	組織の本社の所在地	12500 TI Boulevard, Dallas, Texas 75243
G4-6	組織が事業展開している国の数、および組織が重要な事業所を有している国、報告書中に掲載しているサステナビリティのテーマに特に関連のある国の名称	TI は 30 か国以上に製造、設計、および販売運営拠点を持っています。TI は 主要運営拠点 (重要拠点) を以下のように定義しています。1) すべての製造施設と 2) 2016 年 12 月 31 日時点で従業員数が 100 人を超える設計および販売拠点
G4-7	組織の所有形態や法人格の形態	Incorporation: SEC フォーム 10-K
G4-8	参入市場 (地理的内訳、参入セクター、顧客および受益者の種類を含む)	SEC フォーム 10-K , Part I, pages 5-7 (英語)
G4-9	組織の規模 (次の項目を含む) - 総従業員数 - 総事業所数 - 売り上げ (公的組織について) - 提供する製品、サービス。	2016 年 12 月 31 日の時点で、TI は 29,865 人の従業員を雇用し、世界 30 か国以上に製造、設計、および販売運営拠点を持っていました。2016 年に、TI は数十万の製品を販売し、133.7 億ドルの売上を計上しました。 (SEC フォーム 10-K, Part I, Item 1, pages 2, 9; Item 2, page 14) . (英語)
G4-10	以下のものを含む労働力: - 地域別、男女別の総労働力 - 雇用者数の著しい変動	従業員数 (全世界の労働力)
G4-11	団体交渉協定の対象となる全従業員の比率	現在、比率のトラッキングを実施していません。世界各地で活動する TI の全従業員には、常に、各国の法で認められている結社の自由や団体交渉の権利が認められています。
G4-12	組織のサプライチェーンに関する記述	サプライ・チェーン
G4-13	報告期間中に、組織の規模、構造、所有形態またはサプライ・チェーンに関して発生した重大な変更	TI は 2016年に、組織の規模、構造、所有形態またはサプライチェーンに関しての大きな変更を行いませんでした。 Annual Report , SEC フォーム 10-K (英語)
G4-14	予防的アプローチ	気候変動や事業の継続性への取り組みなど、事業運営におけるさまざまな面で予防原則を検討しています。さらに、化学物質および材料の積極的なスクリーニング・プロセスにより、解明されていない危険性や制御されていない危険性を含む可能性のある材料を使用していないことを保証しています。
G4-15	外部で作成された経済、環境、社会憲章、原則あるいはその他のイニシアティブで、組織が署名または支持したもの	自主基準 , Eシックス
G4-16	組織が次の項目に該当する位置付けにあるものを含む、団体や国内外の提言機関の会員資格: - ガバナンス組織において役職を有しているもの - プロジェクトまたは委員会に参加しているもの - 継続的な会員資格の義務を超える多額の資金提供を行っているもの - 会員資格を戦略的なものとして捉えているもの	TI は、さまざまな政策を目的として活動する、多数の 団体 、に所属しています。TI は特定の団体において他よりも活発に活動しており、すべての団体のあらゆる事項に関して活動しているわけではなく、またすべてに賛同しているわけでもありません。また、TI は他の外部グループや団体との提携を通して、成長を加速し競争力を高め、自社のステークホルダー、お客様、従業員、およびコミュニティを支援する政策を推進しています。
	レポートの構成と区分	
G4-17	組織の連結財務諸表または同等文書の対象になっているすべての事業体	TI には、アナログと組込みプロセッシングの 2 つの報告対象となるセグメントがあります。TI の残りの事業活動の実績については、「Other」(その他) で報告しています。 (SEC フォーム 10-K, Part I, Item 1, page 2) . (英語) このレポートでは、財務諸表に含まれるすべての事業体についてのシティズンシップに関するトピックを扱っています。 レポートの概要
G4-18	報告書の内容およびアスペクトの境界を確定するためのプロセス	本レポートの主な内容については、ステークホルダーの意見を参考に TI のシティズンシップ実行委員会 (CEC) が決定しました。また、このプロセスの一環として、2 年ごとに正式なステークホルダー評価を実施しています。前回の評価は 2015 年に実施しました。

インディ	一般標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	レポートの構成と区分 (continued)	
G4-19	報告書の内容を確定するためのプロセスで特定したすべてのマテリアル	ステークホルダーとの関わり
G4-20	組織の区分け	このレポートの記載は、別途記載の箇所を除き、TI と各国の TI の子会社の実績を含んでいます。 レポートの概要
G4-21	組織外の区分け。	GRI の定義によれば、会社外の「マテリアルな側面」(重要な側面)にはコミュニティ、サプライチェーン、および製品の使用が含まれます。
G4-22	過去の報告書で提供した情報を修正再記述する場合には、その影響および理由	報告する修正再記述はありません。
G4-23	過去の報告期間からの重要な変更	レポートの概要 (重要な変更)
	ステークホルダーとの関わり	
G4-24	組織が関連をもつステークホルダー・グループ	TI のステークホルダーには、従業員、お客様、株主、TI の拠点があるコミュニティ、研究機関、公務員、業界団体、監督機関、非政府組織、アナリスト、投資家、サプライヤー、請負業者、TI の退職者、および将来の従業員が含まれますが、これらに限定されません。
G4-25	組織が関連をもつステークホルダーの特定および選定基準	直接的な影響を及ぼす ステークホルダー 、または TI の業務に関心を持つステークホルダーとの関わりを維持しています。
G4-26	ステークホルダーとの関わりに関する考え方	2年ごとに、最も重要な環境、社会、ガバナンスのテーマを特定し深く理解するために、TI は公式の ステークホルダーの評価 を実施します。この評価には、世界的なピア・ベンチマーキングと、顧客や従業員への調査が含まれています。2015年に実施した前回の評価では、参加者の関心の度合いや TI からの報告の必要性という観点で、43項目に対して意見を記述するか、重要度の高い順にランクを付けるように依頼しました。
G4-27	ステークホルダーとの関わりに関する主なトピックや懸念	2015年に実施した TI の前回の評価で、 優先項目 としてステークホルダーから指摘されたのは以下の点でした。
	報告書のプロフィール	
G4-28	報告期間	暦年
G4-29	最新の発行済報告書の日付	2016年5月
G4-30	報告サイクル	年次
G4-31	報告書に関する質問の窓口	TI または本レポートのシティズンシップについてのご質問は、citizenshipfeedback@list.ti.com 宛に E メールでお問い合わせください。
G4-32	選択した「準拠」のオプション	TI は本レポートの作成にあたり、GRI (グローバル・レポーティング・イニシアティブ) の G4 サステナビリティ・レポーティング・ガイドラインのコアレベルに準拠しました。
G4-33	保証内容	2016年版において TI は、確立された策定プロセスを維持し、ここで提示する情報の正確性と監査能力をさらに確実なものにしました。現在、TI はシティズンシップ・コンテンツに対する第三者からの保証を求めておらず、代わりにステークホルダーにとって最も重要性の高い複数の項目に取り組む作業に重点をおいています。
	ガバナンス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	ガバナンス , SEC フォーム 10-K
G4-34	組織のガバナンス構造	ガバナンス
	倫理と誠実	
G4-56	組織の価値、理念および行動基準・規範	TI が最初のエシックス・ガイドを公開したのは 1961 年です。それ以来、業務遂行の強力なエシックス基準の土台となっています。2015年に、TI は 行動規範 を更新し、TI の業務遂行を決定する中核的な価値である誠実、革新、コミットメントを強化することができました。更新後の行動規範は全従業員に対して紹介され、それらを確実に順守するための必須トレーニングも提供されました。



特定標準開示項目

- ▷ 経済状況
- ▷ 環境
- ▷ 社会
 - 労働慣行とディーセント・ワーク
 - 人権
 - 社会
 - 製品責任

経済状況

DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	経済的パフォーマンス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	TI について: TI について , SEC フォーム 10-K (英語)
G4-EC1	創出、分配した直接的経済価値	TI の 年次報告 で経済的パフォーマンスに関する情報を提供しています。 コミュニティへの投資
G4-EC2	気候変動によって組織の活動が受ける財務上の影響、その他のリスクと機会	気候変動についての財務上の潜在的影響を数値化していません。
G4-EC3	確定給付型年金制度の組織負担の範囲	TI には、確定拠出、確定給付、退職者医療給付制度などのさまざまな退職金制度があります。これらの制度に対する TI の拠出額は、資金積み立てに関するすべての最低要件を満たすか、それらを上回っています。 SEC フォーム 10-K , Item 10, page 49: 退職者給付制度
G4-EC4	政府から受けた財務援助	TI は世界各地の連邦、州、および地方政府から税制上の優遇措置によるインセンティブを受けました。それらのインセンティブは、装置や設備、雇用、研究開発に投資している製造会社に一般的に提供されているものです。詳細については、 SEC フォーム 10-K Part II, Item 8, Note 6, pages 43-45 (英語) と tax policy (税務政策) をご覧ください。
	市場でのプレゼンス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	従業員
G4-EC5	重要事業拠点の地域最低賃金と比較した、標準的なエントリーレベルの給与の割合	TI はすべての国で標準的な入社時賃金を維持しているわけではありませんが、操業するすべての国で現地の最低賃金を超える金額を従業員に支払っていることを確認済みです。TI は、性別、人種、民族など保護される特徴に関係なく、業務に関連する正当な要因に基づいて各従業員に報酬を支払っています。
G4-EC6	重要事業拠点における、地域採用者の上級管理職の比率	TI の方針は、弊社で働く意思のある、最も優秀な個人を雇用することです。全世界では TI の上級管理者の 99% が、TI が操業しているコミュニティの出身です。
	調達	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	サプライチェーン
G4-EC9	重要事業拠点における地元サプライヤーへの支出の比率	マイノリティ / 女性所有のビジネス・ サプライヤーへの支出

環境

DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	原材料	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	環境
G4-EN2	使用原材料におけるリサイクル材料の割合	当社の製品を製造するために必要な購入原材料の多くは化学物質です。半導体の処理に使用する化学物質のほとんどは高純度であることが必要ですが、一部の自社施設では酸化スラリーを回収して再利用しています。可能な場合、プロセスで廃棄物の酸も収集し、除外装置で再利用しています。建設プロジェクトでは、リサイクル製品を含む材料を優先しています。ただし、現時点ではそれらのプロジェクト向けに購入したリサイクル済み物質の総量を追跡していません
	エネルギー	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エネルギー利用
G4-EN3	社内のエネルギー消費量	エネルギー利用
G4-EN5	エネルギー原単位**	0.45
G4-EN6	エネルギー消費量の削減	エネルギー利用
G4-EN7	製品およびサービスのエネルギー所要量の削減	製造した1個のチップを動作させるために必要なエネルギーは、年間わずか時間当たり0.15ワットです。代表的な1個のチップを動作させるために必要なエネルギーに関する、TIの平均年間削減量は、2016年は7%でした。
	水	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	水利用
G4-EN8	水源別の総取水量	水利用
G4-EN9	取水によって著しい影響を受ける水源	私たちが認識している範囲で、TIの事業による悪影響はありません。
G4-EN10	リサイクルおよびリユースした水の総量と比率	水利用
	排出	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	排気、気候変動
G4-EN15	直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ1)	GHGの排出 (スコープ1)
G4-EN16	エネルギーによる間接的な GHG 排出量 (スコープ2)	間接的 (スコープ2) 排出
G4-EN18	GHG 排出原単位	チップあたりの GHG 排出量
G4-EN19	温室効果ガス (GHG) 排出量の削減量	GHGの排出 (スコープ1)
G4-EN20	オゾン層破壊物質 (ODS) の排出量	TIが ODS (オゾン層破壊物質) を使用しているのは、閉ループの冷却ユニット内のみです。これらの機器が寿命に達した時点で、TIはこれらの機器を交換しています。
G4-EN21	NOx、SOx、およびその他の重大な大気排出	窒素酸化物 (NOx) と揮発性有機化合物 (VOC) の排出量 (米国のみ)
	排水および廃棄物	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	マテリアルの管理
G4-EN22	水質および排出先ごとの総排水量	廃水の排出
G4-EN23	種類別および処分方法別の廃棄物の総重量	廃棄物と廃棄
G4-EN24	重大な漏出の総件数および漏出量	著しい漏出は発生しませんでした。
G4-EN25	バーゼル条約付属文書 I、II、III、VII に定める有害廃棄物の輸送、輸入、輸出、処理重量、および国際輸送した廃棄物の比率	2016年、TIはどの有害廃棄物も国外に輸送しませんでした。

** TIのグローバルな製造拠点で製造されたチップごとの消費エネルギーを、2005年基準と比較したものの施設の開設と閉鎖に伴う調整を実施していない

環境 (continued)

DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	製品およびサービス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	製品
G4-EN27	製品およびサービスによる環境影響緩和	TIは、 製品の寿命終了 も含め、自社製品の環境的影響と社会的影響を理解し管理するために、国際的に認知されている規格に従い、細心の注意を払っています。TIは、弊社の CETRAQ プロセスと同じ環境のまた社会的検討事項に関して説明責任を負うことができる半導体製造サプライヤと取引しています。TIの教育用テクノロジーのサプライヤも、同様の方針に従っています。
G4-EN28	使用済み製品や梱包材のリユース、リサイクル比率 (区分別)	TIは現時点で、お客様またはエンド・ユーザーによって回収される製品のパーセンテージを特定できません。TIの教育用テクノロジーは、さまざまな リサイクル・プログラム に参加しています。お客様が自社製品に取り付けた半導体製品をどのように扱うか、また製品寿命の問題にどのように取り組むかを、TIが管理することはできませんが、弊社は部品で使用されている物質に関する詳細な情報を提供しており、お客様は 寿命到来後の廃棄 に関して、情報に基づく決定を下すことができます。
	コンプライアンス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	環境
G4-EN29	環境法規制の違反に関する高額罰金の額、罰金以外の制裁措置の件数	TIは2010年から2015年にかけて発生した水排出許可に対する違反に関して、2016年にCalifornia Water Board (カリフォルニア水管理委員会)に39,000ドルを支払いました。TIのサンタクララ拠点にある地下水ポンプの破損と亀裂、および対処システムが原因で、未処理の水を地下に排出してしまい、許可に違反する結果になりました。それぞれの排出に関して、TIは漏出を停止するための対策をただちに実行し、システムを修復する是正処置を実施しました。
	環境全般	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	環境
G4-EN31	環境保護目的の総支出と総投資 (種類別)	TIは環境保護に関連する資金に約700万ドルを拠出し、環境保護に関連する運営支出に約3,870万ドルを拠出しました。
	サプライヤの環境評価	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	サプライ・チェーン
G4-EN33	サプライ・チェーンにおける現実的、潜在的な著しいマイナス環境影響と、対処措置	弊社のサプライ・チェーンの環境的責任と社会的責任を評価した後、環境に著しい悪影響を何も及ぼしていないことを確認しました。
	環境の苦情処理制度	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目。	環境
G4-EN34	環境影響に関する苦情で、正式な苦情処理制度を通じて申立、対応、解決を行ったものの件数。	2016年、TIには環境への影響に関する苦情はありませんでした。また、未解決の苦情もありませんでした。仮に苦情が発生した場合、社内 (従業員) と外部ステークホルダーの両方からの環境に関連する問い合わせ、懸念、苦情を受け付ける複数の手段がTIにあります。これらの問い合わせは、TIの環境エキスパートに送られ、対応が実施されます。

社会

労働慣行とディーセント・ワーク

DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	雇用	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	従業員
G4-LA1	従業員の新規雇用者と離職者の総数と比率（年齢、性別、地域による内訳）	従業員
G4-LA2	主要拠点において、派遣社員とパートタイム従業員には支給せず、正社員に支給する給付	TIの米国正社員と代替勤務スケジュールで勤務する従業員（週20～39時間）のどちらにも、医療、処方薬、歯科、眼科、従業員援助、所得補償を含む、すべての給付の受給資格があります。週20時間未満の勤務スケジュールで勤務する、臨時雇用やパートタイムの従業員は、給付の受給資格がありません。
G4-LA3	出産・育児休暇後の復職率と定着率（男女別）	出産・育児休暇後の復職率と定着率については、現在、記録していません。
	労使関係	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	従業員
G4-LA4	業務上の変更を実施する場合の最低通知期間（労働協約で定めているか否かも含む）	米国のTIでは、シフト変更については少なくとも1週間前までに、人員整理については少なくとも60日前までに通知（または通知に変わる手当の支払い）を行っています。米国外のTIでは、地域の労働法に従っています。
	労働安全衛生	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	健康、安全
G4-LA5	労働安全衛生プログラムについてモニタリング、助言を行う労使合同安全衛生委員会に代表を送る母体となっている総労働力の比率	TIのすべての製造拠点には正式な環境、安全、健康（ESH）委員会が設置されています。委員会は製造部門のマネージャ、ESHスペシャリスト、従業員の代表で構成されています。
G4-LA6	傷害の種類と、傷害・業務上疾病・休業日数・欠勤の比率および業務上の死亡者数（地域別、男女別）	要記録負傷事例と、休業日数 / 仕事に制限が生じた日数の発生率は、 成果の概要 で確認できます。TIは、業務上の怪我や病気による従業員の欠勤をモニターしています。欠勤の比率は1.7でした。業務に関連した死亡事故は発生しませんでした。
G4-LA7	業務関連の事故や疾病発症のリスクが高い労働者数	TIには、事故率や特定疾病発症率の高い業務活動に従事する作業員はいません。TIでは、作業場でのあらゆる化学物質への暴露を最小限に抑え、作業員の健康に悪影響を及ぼさないようにする、非常に強力な産業向け衛生管理プログラムを採用しています。
	トレーニングおよび教育	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	従業員の、能力開発
G4-LA9	従業員一人あたりの年間平均トレーニング時間（男女別、従業員区分別）	トレーニングの平均
G4-LA10	スキル・マネジメントや生涯学習のプログラムによる従業員の継続雇用と雇用終了計画の支援	従業員は、各自のキャリアの過程で、多様な 能力開発の機会 を活用できます。
G4-LA11	業績とキャリア開発についての定期的評価を受けている従業員の比率（男女別、従業員区分別）	TIは勤務評価を受けている従業員の数を記録していません。TIの多くの部門においては、上司と部下の間での会話を奨励したりそのような会話を指導するオンライン・リソースへのアクセスを提供する代わりに、従業員の関与、目標設定、会社の優先順位とのすり合わせを通じて、より大きな成功を遂げています。私たちは年間を通じて、従業員が自身の目標とマネージャの期待内容を理解しているか調査しています。

社会 労働慣行とディーセント・ワーク

DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	多元化と平等機会	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	従業員、多様性
G4-LA12	ガバナンス組織の構成と従業員区分別の内訳 (性別、年齢、マイノリティーグループその他の多様性指標別)	ガバナンスの結果
	男女同一報酬	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	従業員、給与と福利厚生
G4-LA13	女性の基本給と報酬総額の対男性比 (従業員区分別、主要事業拠点別)	TIは、性別、人種、民族など保護される特徴に関係なく、業務に関連する正当な要因に基づいて各従業員に報酬を支払っています。幅広いカテゴリの従業員を比較した賃金比率は、従業員ごとに異なる正当な賃金決定要因 (遂行する業務、責任の重さ、業務実態、スキル、資格、教育、経験など) を考慮していないので、賃金比率のデータは賃金の平等を示す指標としては信頼性が低いとTIは考えています。
	サプライヤの労働慣行評価	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	サプライ・チェーン、責任ある供給
G4-LA15	サプライ・チェーンでの労働慣行に関する著しいマイナス影響 (現実のもの、潜在的なもの) と実施措置	弊社のサプライ・チェーンの環境的責任と社会的責任を評価した後、労働慣行に著しい悪影響を及ぼしていないことを確認しました。
	労働慣行に関する苦情処理制度	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	従業員
G4-LA16	労働慣行に関する苦情で、正式な苦情処理制度を通じて申立、対応、解決を行ったものの件数	内部レビューと対策のために事例を記録していますが、労働慣行に対する申し立ては社外秘情報であると考えているため、現在、公式の報告は行っていません。労働慣行に関するすべての問い合わせを解決できるよう取り組んでいます。
	雇用期間	
TI-LA17*	TIの従業員の平均勤務年数	10年未満: 48.9% 10～20年: 26.0% 20年以上: 25.0%

*TIにより作成

社会 人権

DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	投資	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	人権
G4-HR2	業務関連の人権についての方針、手順を内容とする従業員研修を行った総時間（研修を受けた従業員の比率を含む）	すべての従業員は、TI の価値とエシックスに関するトレーニングとガイダンスを受けています。特に、これらは職場における誠実さとお互いの尊重に関係します。2016年に、選ばれた従業員と、世界中のセキュリティ関連社員全員に対して人権のトレーニングを提供しました。
	非差別	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	多様性と包括性
G4-HR3	差別事例の総件数と実施した是正措置。	内部レビューと対策のために差別の申し立てを記録していますが、この種の情報は社外秘情報であると考えているため、現在、公式の報告は行っていません。差別に関するすべての問い合わせを解決できるよう取り組んでいます。
	セキュリティ	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス
G4-HR7	業務関連の人権方針や手順について研修を受けたセキュリティ要員の比率	TI の組織であるワールドワイド・プロテクティブ・サービスには、安全で互いを尊重できる職場環境を全世界で保持するための標準的な手順があります。この手順には、エシックス、コンプライアンス、人権に関するトレーニングを、セキュリティ要員全員に実施することが含まれています。
	認証	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	人権
G4-HR9	人権レビューや影響評価の対象とした業務の総数とその比率	TI は、Electronic Industry Citizenship Coalition (EICC) が検証した監査プロセスの一部として、人権に関する2つの事業の監査を完了しました。EICC の自己評価ツールを使用する世界中の製造拠点すべてを評価しました。
	サプライヤの人権評価	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	人権
G4-HR10	人権クライテリアによりスクリーニングした新規サプライヤの比率	新しいサプライヤは TI の支出のうちごくわずかな部分を占めるに過ぎず、TI に大きな影響を及ぼすものではありません。
G4-HR11	サプライ・チェーンにおける人権への著しいマイナスの影響（現実のもの、潜在的なもの）、および実施した措置	弊社のサプライ・チェーンに関する環境的責任と社会的責任評価により、人権への著しい悪影響もないことを確認しました。
	人権に関する苦情処理制度	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	人権
G4-HR12	人権に関する苦情で、正式な苦情処理制度により申立、対応、解決を凶ったものの件数	内部レビューと対策のために事例を記録していますが、人権に対する苦情は社外秘情報であると考え、現在、公式の報告は行っていません。人権に関するすべての問い合わせを解決できるよう取り組んでいます。

社会 社会

DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	地域コミュニティ	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	コミュニティ
G4-SQ1	事業のうち、地域コミュニティとの関係づくり、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施した事業の比率	TIは、慈善活動、ボランティア、リーダーシップの関与、共同イニシアティブ（特に、教育の分野）を通じて、地域コミュニティに積極的に関わっています。また、地元のサプライヤや市民団体のリーダーとも協力しています。なお、正式な影響評価は行っていません。
G4-SQ2	地域コミュニティに著しいマイナスの影響（現実のもの、潜在的なもの）を及ぼす事業	2016年に、TIはスコットランドのグリーンノックにあるGFAB製造拠点の閉鎖を開始するための手順を実施していることを発表しました。よりコスト効率の優れたドイツおよび米国の拠点に業務を転移することが目的です。計画では2018年末までにこのプロセスが完了します。2016年、TIはこの拠点の適切な買い手を探しましたが、まだ見つかりません。適切な買い手を見つけることができない場合、2016年に発表したように、約365のTIの職が解雇または移転などの影響を受けます。
	腐敗防止	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス
G4-SQ3	腐敗に関するリスク評価を行っている事業の総数と比率、特定した著しいリスク	腐敗に関するリスクについて、世界中にある事業拠点すべてを評価しています。
G4-SQ4	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションとトレーニング	TIは、腐敗防止の演習も含め、エシックスとコンプライアンスの啓発トレーニングをすべての従業員に対して実施し、99.9%がこれらのトレーニングを完了しました。また、TIは2016年に汚職防止と記録改ざんに関する社内のポリシーを更新し、定期的な社内ニュースの記事を通じてこのトピックを継続的に注意喚起しています。
G4-SQ5	明確な腐敗事例、および実施措置	内部レビューと対策のために事例を記録していますが、腐敗事例は社外秘情報であると考え、現在、公式の報告は行っていません。腐敗に関するすべての事例を解決できるよう取り組んでいます。
	政策アドバイス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	ガバナンス 、 優先度 、 企業の政治活動 をご覧ください。ガバメント・リレーション担当副社長は、行政機関との信頼構築に関する最新状況と進捗を書面で四半期ごとにTIの戦略リーダーシップ・チームと取締役会に提出し、取締役会のガバナンスと株主向け広報委員会に対して公式のプレゼンテーションを年ごとに実施しています。TIは、会社の要請や政治状況の実情によって、その戦略や優先度を変更します。
G4-SQ6	政治献金の総額（国別、受領者・受益者別）	TIの 政治活動および献金 に関する報告書と、 地方政治への献金 は、米国の活動のみを反映しています。米国以外のどの国でもTIは政治献金を行っていません。

社会: 社会 (continued)

DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	反競争的行為	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス
G4-S07	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により法的措置を受けた事例の総件数およびその結果	TI が関与する法的手続きの資料は、 SEC フォーム 10-K , page 15. (英語) をご覧ください。
	コンプライアンス	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス
G4-S08	法規制への違反に対する相当額以上の罰金金額および罰金以外の制裁措置の件数	TI は 2016 年、法規制への違反に対する重大な罰金、およびそれ以外の制裁措置を受けていません。
	サプライヤの社会的影響評価	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	サプライ・チェーン
G4-S010	サプライ・チェーンにおいて社会に及ぼす著しいマイナスの影響（現実のもの、潜在的なもの）および実施した措置	弊社のサプライ・チェーンの環境的責任と社会的責任を評価した結果、社会に著しい悪影響を及ぼしたものがないことを確認しました。

社会 製品責任

DMA と指標	特定標準開示項目	ページ / 対応 / 省略
	製品およびサービスのラベリング	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	品質とコンプライアンス
G4-PR3	組織が製品およびサービスの情報とラベリングに関して手順を定めている場合、手順が適用される製品およびサービスに関する情報の種類と、このような情報要求事項の対象となる主要な製品およびサービスの比率	責任あるパッケージング
G4-PR4	製品およびサービスの情報とラベリングに関する規制ならびに自主的規範の違反事例の総件数（結果の種類別）	TI は配送とラベリングに関する規制とお客様の要求に従っています。誤植や誤ったコードなど、ラベリングの小さな誤りは起こる場合がありますが、私たちはそのような誤りを訂正し、迅速でコスト効率に優れた製品配送を確実にできるように取り組んでいます。
	マーケティング・コミュニケーション	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス
G4-PR7	マーケティング・コミュニケーション（広告、プロモーション、スポンサー活動を含む）に関する規制および自主的規範の違反事例の総件数（結果の種類別）	コンプライアンスに関する TI の記録は誇ることができるものです。TI は、法規制への違反に対する重大な罰金や制裁措置をいずれも課されませんでした。
	顧客プライバシー	
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	事業の継続性
G4-PR8	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して実証された不服申立の総件数	事業の継続性（プライバシーとデータの保護）

*TI により作成

**TI のグローバルな製造拠点で製造されたチップごとの消費エネルギーを、2005 年基準と比較したものの施設の開設と閉鎖に伴う調整を実施していない

将来の予測に関する記述の注意事項

この通知には、1995年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図した「将来の予測に関する記述」が含まれています。一般的に、これら将来の予測に関する記述は、TI またはその経営陣による、(確信する)、(期待する)、(予測する)、(予見する)、(予期する)、(推定する)、または類似の意味を持つ単語や言い回しから、識別することができます。

同様に、記述が、TI の業務方針、見通し、目的、計画、意図、目標について述べている場合も、将来を予測するものです。このように将来を予測する記述はいずれも特定のリスクや不確定要素を含む可能性があり、実際の結果が予測と大きくかけ離れる可能性があります。これらの要因に関する詳細な説明については、SEC が保管している TI の最新の [SEC フォーム 10-K \(英語\)](#) の Item 1A に記載されている (リスク要因) をご覧ください。この通知に含まれている、将来を予測する記述は、この通知の作成日の時点で有効なものに過ぎず、TI はそれ以降に発生するイベントや状況を反映する目的でこれら将来を予測する記述を更新する義務を負わないものとします。

